

事業所名

多機能型事業所 ここふくプラス

## 支援プログラム

作成日

令和6年

12月

12日

法人（事業所）理念		私たちは、福祉の実践集団として高潔な自覚を持ち、利用者はもとより広く地域の人々に信頼され愛される事業を目指します。						
支援方針		お子さま一人ひとりを大切に、個々の発達に必要な支援を行います。子どもたちが、楽しく過ごせる場、環境と時間、一人ひとりにあった療育を提供します。楽しみながら未来へとつなげていける支援します。「できた!」という自信が次の挑戦への第一歩を踏み出し、子どもたちが社会の一員として生活していけるよう成長、自立を専門的な視点でサポートします。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	保護者と排泄や睡眠状況について共有し日々の健康観察を行う 構造化された環境を提供し、どこで何をどのくらい行うのかが理解できるように調整する 排泄や身だしなみなど生活に必要な基本的習慣が習得できるようにする						
	運動・感覚	視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭覚の感覚を活用して遊びや活動を行う 感覚の特性（感覚過敏や鈍磨）を踏まえ感覚の偏りに配慮した環境調整を行う つかむ・握る・貼るなどの活動を提供して指先のトレーニングを行う トランポリンやバランスボール・バランスボードを使って体幹を強化する						
	認知・行動	認知の特性を踏まえ情報を適切に処理できるように支援する 色・形・大きさ・重さ・数などの概念の形成により日常生活に必要な行動ができるように支援する その日のスケジュールをカードで提示し、確認することで時間を意識して行動できるように支援する 立体工作などの制作活動などを通して空間の認知力を高める						
	言語 コミュニケーション	個別活動時に特性に応じた読み書きを行い、言葉を増やす取り組みをする アイコンタクト・指さし、手話や写真・絵カードの使用など、発達段階や特性に合わせた手段を活用してコミュニケーション方法を増やす 人の話や説明を終わりまで聞き、相手の質問を理解して返答するなど双方向のコミュニケーションの能力を向上させる						
	人間関係 社会性	遊び場面でのやり取りで順番やルールを守る大切さを理解する（物の貸し借り・困った時に誰かに助けを求めることができる） 職員や他児童との遊びや活動を通して、遊び方を確認するとともに順番を守るなどの適切な行動ができるように支援する SSTで課題への対処方法を身につけてできることを増やす 達成感や褒められる場面を通して自己肯定感が高められるようにする						
家族支援		日々の情報共有や家族からの個別の相談に丁寧に対応する 必要に応じて家庭訪問し、環境の整備について検討する			移行支援		必要時、保育所や学校と情報共有する 進路についての相談に対応する	
地域支援・地域連携		医療機関・相談支援事業所などの関係機関と連携して支援を行う			職員の質の向上		外部研修や伝達研修の実施	
主な行事等		季節ごとの行事						